



ひらぼうほたる飛ばせ隊

きれいな水と空気。その環境がなければ生息できないホタル。輝北町平房にある輝北ダムの下流に位置する「ひらぼうの里」では、毎年5月下旬から6月初旬にかけて、ゲンジボタル、ヒメボタル、ヘイケボタルが幻想的な光を放ちながら乱舞します。このホタルを多くの人に観てもらおうと始めたのが「ひらぼうほたるの里『ほたる祭り』」。運営に携わる「ひらぼうほたる飛ばせ隊」は、ホタルの散策道の整備や観賞の案内をはじめ、地域の高齢者から子ども達まで幅広い世代と協力して、ホタルの生態調査や郷土料理づくりなど様々な取り組みを行っています。地域の資源が輝きを保ち続けられるよう隊員たちの活動はこれからも続きます。



ホタルが成虫になってから飛んでいられるのは 約1週間前後といわれています。

令和2年全国広報コンクール 「広報かのや」が「読売新聞社賞」を受賞!

令和2年全国広報コンクール広報 紙(市部)部門で、「広報かのや令和元 年9月号」が県内で唯一「入選」し、「読 売新聞社賞」を受賞しました。取材に ご協力いただいた皆さんありがとう

ございました。これからも市民の皆さんに親しまれる誌面づくりを目指していきます!





CONTENTS / 目 次

広報かのや No.344 May 2020

- 04 「緊急事態宣言」が発令されました
- 06 5分で完成!簡単マスクの作り方!
- 07 みんなの Hot News
- 08 温故写新/カノヤタイムトラベル
- 09 夢のかけはし「隈本 宗聡 さん」
- 10 新たな学びスタイル 鹿屋女子高校
- 12 かのや移住サポートセンターを 開設しました
- 14 マイナポイントをゲットしよう!
- 15 知って役立つ情報掲示板
- 18 すこやか直幸便/ 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 19 輝け!ジュウダイ/おしごとの時間
- 20 市民のひろば
- 21 ココ de チャレンジ
- 2 2 地域おこし協力隊員「村山 寛光 さん」 活動を振り返って
- 24 プレゼント・映画情報

今月のカバー



新型コロナウイルスの収束を願って

表紙は、流作りを趣味にしている市民の方が手作りした凧。 日頃はアニメのキャラクターを描いた凧を作ることが多いそうですが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、メッセージを入れたといいます。この日凧あげをしていた公園も人はまばら。 一日も早く収束し、賑わいが戻ることを願うばかりです。

3 KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS Vol.344